

【報告 消息】

・イースター礼拝 報告
先週のイースター礼拝には、久しぶりに来会された方も多く見えました。特別なプログラムはありませんでしたが、主の御復活を共にお祝いできたことを感謝します。

教会で定期的にフオーロしている継続来会者には、案内のハガキを事前に送付したので数名が来会されました。感謝。

・新体制スタート

新年度の始まりと共に、教職者の体制も変わりました。第二礼拝後には荻野牧師、徳谷牧師に教会から花束が贈られました。それぞれ主任牧師、担任牧師としての職責を果たせるように、お祈りをお願い致します。

・週報について

週報の執筆は荻野牧師が担当しています。お気づきの点や質問などあればお知らせください。

・ 3 / 28 礼拝出席者数報告

第1礼拝 25名
第2礼拝 56名
小学科礼拝 小6名 中高2名

・ 4 / 4 イースター礼拝出席者数報告

第1礼拝 30名
第2礼拝 46名
小学科礼拝 小3名 中高4名

28日は石田牧師夫妻が蒲田最終、4日はイースターということで、2週続けて久しぶりに多数の来会でした。

【今後の説教予定】

4月18日 荻野牧師 マタイ22章
25日 荻野牧師 マタイ1章
5月2日 徳谷牧師 主の祈り

今年度、荻野牧師は礼拝説教のテキストとしてマタイの福音書を扱います。

ペテロは、イエスが三度目も「あなたはわたしを愛していますか」と言われたので、心を痛めてイエスに言った。「主よ、あなたはすべてをご存じです。あなたは私があなたを愛していることを知っておられます。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を飼いなさい。」

私たちは日々様々な経験をし、時に自分の人生に大きな意味を持つ重大な経験をすることがあります。それは入学や結婚、何らかの成功体験といった喜ばしいこともあれば、失敗や挫折、悲しい経験もあります。

うれしいことも悲しいことも、それをどのように受け止め、そこから何を学ぶかが大切です。特につらい出来事については、それを受け止めるために誰かの支えが必要です。苦しき中で自分が支えられていると十分に感じられるとマイナスと考える経験も人を成長させます。

イエス様の弟子のペテロは、イエス様が十字架に架かる傍らで人生における重大な経験をしました。イエス様が十字架を目標としたとき、ペテロはどこまでもついて行くと豪語しました。しかし彼はイエス様を裏切りました。ペテロは号泣するほど自分の弱さを知りました。

十字架の死から復活したイエス様はペテロに近づき食事でもてなしました。十字架が弱い人間に対する神の愛のしるしであることを示したのです。失意にあったペテロはどれほど慰められたでしょう。

イエス様はペテロに「わたしを愛しますか」と神の無限の愛を現すアガパオーという言葉を用いて問いかけてました。ペテロは「イエス様」という人間的な友情を現す言葉で応答しました。自分には神のような愛はないことを認めながら、人としての精一杯の愛で愛しますと応えたのです。それはペテロが自分の失敗を通して自己理解を深め、自分の限界を弁えたことの現れです。その姿をイエス様はよしとしてくださり、ペテロに福音を伝える使命を託しました。

自己理解と他者理解は通じると言われます。自分とは何者かを知る人は他者をより理解し、寄り添うことができます。イエス様は福音を証しする人にそのようであることを望んでおられます。(泰)